

長井法人会だより

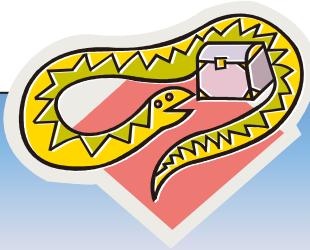
第31号 (通巻32号)

2013新年号

発行 平成25年1月31日 (社)長井法人会 長井市館町北6-27 TEL0238-88-3960
e-mail info@nagai-ho.jp URL:http://www.nagai-ho.jp FAX0238-88-3823



小国町大宮神社 鎮座千三百年祭での稚児行列



迎春

平成25年



長井税務署
署長 武田 実氏

新年のご挨拶



社団法人長井法人会
会長 平 忠 一

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の新年を迎え、社団法人長井法人会の皆様に謹んでお慶びを申し上げます。

会長様はじめ、役員及び会員の皆様には、平素から税務行政につきまして深いご理解と多大なご協力を賜っており、厚く御礼申し上げます。

社団法人長井法人会におかれましては、多岐にわたる社会貢献事業の中で、特に、「税を考える週間」の記念講演会や税金クイズの開催をはじめ、小学生を対象とした税に関する紙芝居を利用した租税教育を行っているほか、本年は小学校での租税教室を予定しているなど、組織を挙げて税の普及活動に積極的に取り組んでいることに感謝するしだいです。

また、特に本年は、公益社団法人への移行年であり、私どもも大いに期待しているところでございます。

さて、まもなく平成24年分の所得税等の確定申告期を迎えようとしております。自宅から申告できるe-Taxの利用や国税庁ホームページの確定申告書等作成コーナーの利用など、自書申告の一層の推進を図るためのICT（情報通信技術）の活用施策を積極的に行うこととしております。皆様方には、申告の早めのご準備とe-TaxなどのICT活用による確定申告の提出を是非お願いいたします。

最後に、新たな年が長井法人会のご発展並びに会員の皆様方のご繁栄の年となりますよう心から祈念しまして、新年のあいさつといたします。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年中は、会員ならびに役員の皆様、関係諸団体の皆様には、法人会活動に対しまして、格別のご協力とご支援を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

東日本大震災から2年を迎えようとしていますが、まだまだ復興への道のりは遠く、環境問題やエネルギー問題に揺れ、加えて世界経済の低迷など日本経済の先行きが見えない厳しい状況となっております。

そんな中、昨年暮れに政権が交代しましたが、今後は、日本の国際競争力低下に歯止めをかけ、経済力強化のためにも、政党の枠を超えリーダーシップを発揮した政治に期待したいと思っております。

当会では、今年の4月1日に公益社団法人登記を目指し準備をすすめております。永年、中小企業の活性化のために一貫して行政に陳情してきた「税制改正要望活動」、青年部会女性部会が中心となり展開している「租税教育事業」、一般の方が参加出来るセミナー等についてもさらに充実した内容とし、幅広く実施して、公益性を高めて参りたいと思っております。

「法人会に加入している事により、事業を通じて社会に貢献している」と誇りに思っていただけのような団体を目指し、努力して参りたいと思っておりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりますが、会員企業の発展とご健勝をご祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。



平忠一会長が 仙台国税局長表彰を 受彰されました

平成二十四年度における、仙台国税局管内の財務大臣、国税庁長官、仙台国税局長及び税務署長納税表彰受彰者が発表され、当会会長の平忠一氏（株平野屋）が、「仙台国税局長納税表彰」を受彰されました。

東北では、二十五名、うち法人会関係が九名、山形県内からは平会長お一人となっております。

多年にわたり率先して申告納税制度の普及発展に努め、納税道義の高揚に顕著な功績を挙げられたことにより表彰されました。誠にありがとうございます。

法人会 行動する

平成25年度税制改正要望陳情活動

地方自治体への提言

1. 社会保障と税の一体改革と今後のあり方

(1) 社会保障制度のあり方

社会保障は過剰なばらまきの給付を排し、「給付の重点化・効率化」を徹底すべき。

(2) 行政改革の徹底

社会保障の安定財源を確保するためとはいえ、消費税の引き上げが国民に痛みを求める措置であることには変わりはない。国・地方は「先ず隗よりはじめよ」の精神により自らの身を削る行政・議会の改革が何より重要である。

- ① 国・地方における議員定数と歳費の削減
- ② 公務員の人員と人件費の削減
- ③ 行政委員会の委員報酬の見直し

2. 地方税関係

(1) 固定資産税の抜本的見直し

固定資産税は、長期的な地価の下落にも関わらず負担感が高いとの声が多い。評価方法および課税方式の抜本的見直しを求める。

全法連では、公平で健全な税制の実現を目指して会員企業の意見や要望を反映しながら、税のあるべき姿や将来像を見据えて建設的な提言を行っています。

法人会の提言活動は、法人税の引き下げをはじめ、同族会社の留保金課税制度の抜本的見直し、事業承継に関する税制の創設など中小企業の活性化に資する税制の構築に寄与しています。

提言を取りまとめる前に全国の法人会の税制委員を中心に税制アンケートを実施したり、さらに経済産業省や財務省の税制改正要望に関するヒアリングに参加するなど、行動する法人会として提言活動を実施しています。



提言書を佐藤町長へ手渡す
左から今岡副会長と江口税制副委員長

白鷹町長へ陳情

当会では、十一月二十六日に今岡副会長と江口税制副委員長が白鷹町役場を訪れ、佐藤誠七町長に「税制改正の提言書」を提示し、内容の趣旨説明をし、要望の実現に向けてアピールしました。地方自治体への提言の要点は、左記の通りです。

11/26

国税電子申告・納税システム

e-Tax

電子申告で効率UP!

納税にはダイレクト納付が便利です!

e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした預貯金口座から、簡単な操作で即時又は期日を指定して納付することができます。

国税に関する申告や納税、申請・届出などの手続きがインターネットで行えます。

e-Taxを利用して所得税の申告をするとこんなメリットが!

- 平成24年分は最高3,000円の税額控除
- 添付書類の提出省略
- 還付がスピーディ

法人会 | 法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

ご利用に際し条件、注意事項があります。詳しくはホームページでご確認ください。

イータックス 検索

夢を語り完成図を示して、みんなを引く張るのがリーダーの役目だ

【作家】
神渡良平

リッツ・カールトンの

成功の秘密

少子化、高齢化、そしてデフレなど、長期不況が続き閉塞感が広がる中、リーダーに求められる資質が改めて問われている。というのもこの経済状況の中でも伸びている企業は伸びているから、それらの経営者はどういう特性を持っているのか研究してみることがある。

そこでまず第1に、日経BPの調査で最も細かなホスピタリティを提供しているホテルとして、並みいる老舗ホテルを抜いて1位に躍り出たリッツ・カールトン大阪をつくりあげた高野登・前リッツ・カールトン日本支社長(現・人とホスピタリティ研究所

長)を探り上げてみよう。

高野氏のリーダーシップにはこういうエピソードがある。

世界中に85のラグジュアリーホテルを展開するリッツ・カールトン・ホテルグループの総帥ホルスト・シュルツ氏がリッツ・カールトン大阪の視察にやってきたとき、そのきめ細かなホスピタリティに感動し、「ここに世界中の支配人に集まってもらい、研修会を開こう」と決めたという。

ホテルの業務を仔細に見てみると、フロント、レストラン、宴会場、ルームサービスなどいろいろある。個々の業務でお客様の納得をいただくことができないければ、そのホテルの評価は下がることになる。しかるに個々の業務は年がら年中同じことの繰り返し

だから、変わり映えがしなくて、個々の従業員はぼやくことになりかねない。

そんなときリーダーはホテルが実現しようとしている夢を語り、目指しているホスピタリティを説いて、個々の従業員を励まさなければならぬ。

ジグソー・パズルは完成図があると、個々のピースに描かれている絵柄からだいたいこのあたりだろうと場所が類推できるから仕上がっていく。完成図がなければ仕上がるのに時間がかかる。リーダーとはこの完成図を持って

いる人であり、それを見せながら、みんなを鼓舞できる人ということである。高野さんはそれをやって個々の従業員の士気を鼓舞し、見事な評価を勝ち得たのだ。

実は旅行業者の投票によって「日本最高のおもてなし」と評価され、32年間第1位の座を守り続けている石川県和倉温泉の加賀屋は、もう20年間、毎年20名の従業員を1か月間、カリフォルニアにあるリッツ・カールトン・ラグナニゲルに送って訓練している。日本最高のおもてなしを提供してといわれる加賀屋ですらリッツ・カールトンのホスピタリティには学ぶものがあるのだ。

人生はウエイティング・ゲームだ

ゲームだ

人間は誰しも日の当たる立場に立ちたいものである。しかしながら当初から日の当たる立場に立てるものではない。誰でも下積み

あり、忍耐を強いられるときがある。そうした時代を経て、部門の長となり、人を動かして仕事をすることができるようになる。

従ってこの下積みときは他日のときの準備期間ということになる。このときしっかり自分を磨き準備した人は、時が来たとき見事なマネジメント能力を発揮することができる。

ところがこの下積み期間を受け身で過ごしている人は人をうまく使えない。命令口調で指示を出し、人を顎で使ってしまうから、人間関係がどうしてもぎくしゃくしてしまうのだ。

そう考えると、下積み期間こそが大事だということになる。人の上に立つ人がそういうことをアドバイスし、若い人を引っ張っていったとき、みんなは気遣いができるようになり、身を入れて仕事をしようとするようになる。

幕末の儒学者で徳川幕府唯一の大学機関だった昌平

坂学問所で教鞭をとっていた佐藤一斎は『言志録』に「著眼高ければ、理を見て岐せざ」と書いている。「高い所から見る」ことができる人は、物事の道理がよく見え、心が迷うことがない」という。上述の事例はこの言葉の意味を語ってあまりある。

リーダーは大所高所に立つて物事を見ることができ、人であり、個々の事例に埋没して全体を見失ってしまうことがない人である。そういう人でなければ人を鼓舞することはできない。

聖光学院高校が強豪校になった秘密

現有勢力の力量をアップし、戦う集団をつくることは、リーダーたる者に課せられた使命である。その点に関しては、福島県代表として甲子園の土を6回踏み、ベスト8まで進み、福島県公式戦では何と76連勝を続けている聖光学院高校野球部の斎藤智也監督が強豪校を育てあ

げてきた経緯は非常に参考になる。

斎藤監督が聖光学院高校野球部を率いるようになったのは平成11年のことである。それまで野球部長を13年務めたが、当時福島県代表の常連校だった私学2強（日大東北高校と学法石川高校）には一度も勝てていなかった。これを倒さないかぎり甲子園には行けない。

野球技術や体力において、ずば抜けたものを持っている私学2強に勝つためにはどうしたらいいか。考えた末に至った結論は個々の選手たちの人間力を高めることだった。もちろんしつかりと野球技術や体力増強にも腐心するが、それ以上にものごとに関心しない選手たちをつくることに心血を注いだ。

高校野球では精神面のものささもろに出ることが多い。一つの失策が次の失策を生んで、勝っていた試合を失ってしまう。それを人間学の学びでカバーしようというのだ。

人間学を学んで天地の理法を身につけたとき、少々のことがあつても動じなくなる。そのため私も拙著『安岡正篤「運命を拓く」』中村天風「幸せを呼び込む思考」に共に講談社新書などを使って講話した。いずれも人間学の書だ。

たとえば『言志録』は「天下のこともと順逆なく、わが心に順逆あり」と明言している。順境とか逆境というのは外に理由があるのではなく、自分の心がそれを生み出しているというのだ。人間はできない理由を外に求めて、自分を納得させるものだ。ところが「順逆はわが心にあるのだ」と受け止めて覚悟を決めたとき、肚が決まる。あれこれ責任転嫁する理由を探さない。そして真に努力するようになり、真価が発揮されるようになる。

光りの海となった

雲海の感動

聖光学院では千日回峰行

を達成した塩沼亮潤大阿闍梨も講話された。塩沼大阿闍梨は吉野の蔵王堂を深夜2時に出発し、釈迦ヶ岳の頂上を踏んで往復40数キロの山道を下ってくる荒行を千日間行い、達成した人である。

途中で挫けたら即刻腹を切つて死ぬ覚悟で、脇差を差していたという。その荒行で一番感動したのは朝の4時過ぎ、山の麓が雲海に被われ、それに朝日が指して黄金の海に変わるときだ。荘厳な光景に直面したとき、自分のいのちは仏さまから授かったものだと感じ、この人生を精一杯生きようと決意したという。

それを聴いた斎藤監督は同じような体験を選手たちにさせようと、吾妻連峰から学校までの真つ暗な山道を5時間かけて下り、早朝4時過ぎ光り輝く雲海に出合うようにした。すると選手たちは荘厳な光の海を見て感動し、法悦の涙さえ流す者もいた。

「もう勝ち負けは度外視して、

いさぎよい試合をしよう。授かったいのちを最大限発揮するだけだ」

こうした体験によって覚悟ができたチームだから少々の失策があつてもそれに引きずられることなく、堂々と戦って勝利を収めることができた。斎藤監督は強さの秘訣を尋ねられて、「私は選手たちに向かい選手であれとは言いません。それよりも強い人間であれと言っています」と答えている。強い人間はたとえ窮地に陥つても簡単にはあきらめず、それを跳ね除けていく。そんなしぶとい人間がチームを組めば強いチームになる。だからこそ斎藤監督はチーム育成の中心に人間学の学びを置いているのだ。

こうした例を見ると、リーダーの役割が自ずから見えてくる。夢を語り完成図を見せて、みんなのモチベーションを高め、打つて一丸となつた組織をつくりあげることだ。そういう組織は不況ものともしない。

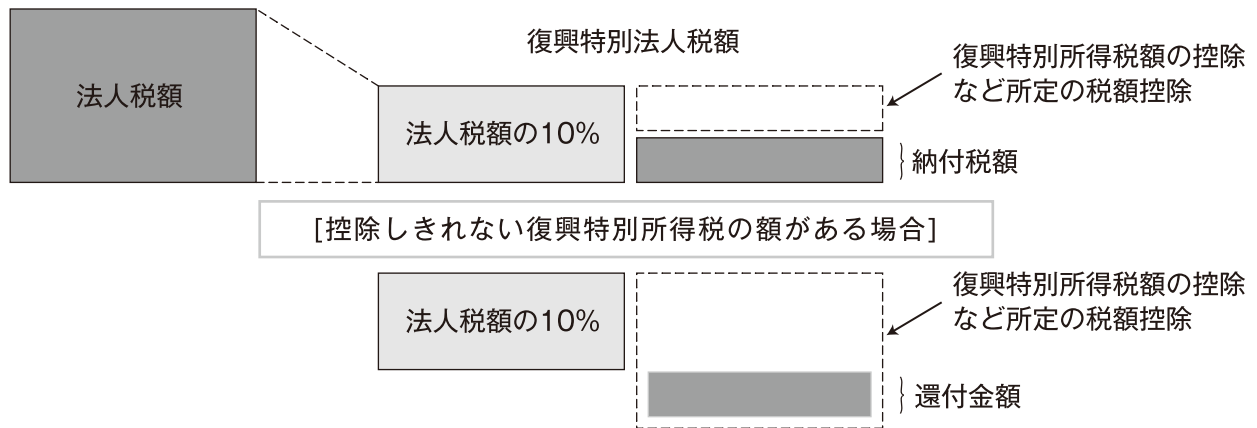
税の ワンポイント 情報

復興特別法人税について

～平成24年4月1日以後に開始する事業年度～

平成23年12月2日に公布された「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」において復興特別法人税制度が創設されました。

復興特別法人税制度は、法人の各事業年度の所得の金額に対する法人税の額に10%の税率を乗じて計算した復興特別法人税を、**法人税と同じ時期に申告・納付する**こととされているものであり、利子など一定の所得に課された復興特別所得税の額などがある場合には、所定の金額を控除した後の金額を納付することとされています。また、復興特別法人税の額に計算上控除しきれない復興特別所得税の額がある場合には、その還付を受けるための申告書を提出することができるとされています。



なお、復興特別法人税の課税の対象となる事業年度は、一定の場合を除き、法人の平成24年4月1日から平成27年3月31日までの期間内に最初に開始する事業年度開始の日から同日以後3年を経過する日までの期間内の日の属する事業年度とされています。

詳細につきましては、国税庁ホームページに掲載されている『復興特別法人税のあらまし』・『復興特別法人税の概要』をご覧ください。

長井税務署からのお知らせ

社団法人長井法人会会員の皆様へ

長井税務署

御社の社員の皆様への確定申告情報提供のお願い ～申告書の作成もできる国税庁ホームページのご案内～

国税庁ホームページ (www.nta.go.jp) には、「確定申告特集ページ」が開設されていますが、その中の「源泉徴収義務者の方へ」に給与所得者の皆様へのお知らせが掲載されています。最近では会社員の方でも確定申告をする方が増えており、そのような方に、申告書が簡単に作成できる「確定申告書等作成コーナー」のご案内をするものとなっています。

つきましては、御社の社員の皆様に次の方法で情報提供していただくようご協力を願います。

- ① 国税庁ホームページのトップページにある「確定申告特集ページ」のバナーをクリック
- ② 「源泉徴収義務者の方へ」をクリック
- ③ 給与所得者の皆様へのお知らせをダウンロード (7種類のデータの中からお選び下さい。)
- ④ 閲覧、配付、メール配信、電子掲示板への掲載などの方法により、社員の皆様に情報提供

長井法人会が取り組んだ

地域社会への貢献

企業も地域社会の発展に進んで取り組んでいる時代です。法人会では、企業のこれらの活動を支援しながら、様々な社会貢献事業活動に取り組んで参りました。

今後は、さらに地域のお祭りや行事の共催など地元根付いた活動も展開して参りたいと思います。

環境活動

- 植樹
(H9) 長井/コンポストセンター
飯豊/ひめさゆり荘
小国/小国中学校
(H10) 白鷹/鷹山小学校
(H20) 白鷹/あゆ〜む
(H21) 飯豊/でんでん



税の啓発活動

- 税のまんが本贈呈
(H11) 高校3年生に配布/長井高・長井工業高・小国高
(H12~18) 同上/長井高・長井工業高・小国高・置農飯豊
白鷹専修・基督教独立学園
(H19~22) マツキ自動車学校県内外生徒へ毎年1万部
(H20~24) 管内小学校6年生に配布

租税教育活動

- 租税教育用ビデオテープ・CD-ROM寄贈
(H12) ビデオ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」管内小中高
(H13) CD-ROM「マリンとヤマトの不思議な日曜日」管内小中
- 租税教育用紙芝居関係「大切なこと」「カップのいたずら」
(H17) 「大切なこと」女性部会作成
(H18) 「同上」管内小学校・図書館へ寄贈
(H19) 「同上」伊佐沢小学校にて読み聞かせ
(H20~24) 全法連作成「カップのいたずら」
長井小 朝読書の時間に読み聞かせ(青年部会)
(H23) 「同上」致芳小朝読書の時間(母親委員会の協力)
- 租税教室(H24) 飯豊第一小・豊田小(青年部会講師)



復興支援事業

- 東日本大震災への支援
(H23) 全法連へ義援金 20万円
山形新聞へ 49,500円
須賀川法人会へ 5万円
- 東日本大震災の人の心に春風を届ける全国からのあったか絵手紙展(地場産共催)
(H23) 12月1日~3日TAS
- 新品タオル 石巻へ150枚寄贈



その他

- 長井市教育委員会へプロジェクター贈呈●洋上セミナー●三遊亭円楽落語寄席●福祉協議会へDVD寄贈●お休み処あやっか作成助成●長井工業高校へ教育用備品贈呈●デジタルタイマー各市町へ贈呈●長井街づくり基金へ●山鉄つり革オーナー●税の絵はがきカレンダー作成

新品タオル寄贈運動

- 管内の福祉施設へ寄贈
(H19) 長井/慈光園157枚
(H20) 小国/さいわい荘167枚
(H21) 白鷹/白光園181枚
(H22) 飯豊/ひめさゆり荘100枚
美の里100枚
(H23) 復興支援 石巻法人会へ

税の絵はがきコンクール

- 各教育委員会を通じ
小学校へ参加募集依頼
(H20) 小国/ 3校57枚
(H21) 小国・白鷹/ 3校88枚
(H22) 小国・白鷹・飯豊/ 11校212枚
(H23) 小国・白鷹・飯豊・長井 13校436枚
(H24) 小国・白鷹・飯豊・長井 13校421枚

使用済テレホンカード収集運動

- 収集家が買取り、その収益で砂漠に緑を植える活動とジョイセフの発展途上の福祉向上運動に賛同。
(H8~21)
合計36,644枚

講演会活動

- 一般公開講演会(税を考える週間記念)
 - 一日転倒予防教室(東大武藤教授)
 - 子供に伝えたい三つのちから(斎藤孝氏)
 - 今こそ自分その合計が自分の一生(庄司住職)
 - 今日本地域はどうあるべきか(橋本五郎氏)
 - 不況こそが私の出番(吉川幸恵氏)
 - 仕事も家庭も諦めない(東レ佐々木氏)
 - ボケない脳をつくる(篠原菊紀氏)
 - 疲れきっている心と身体のコリ退治(木村友泉氏)
 - 銀座のママに学ぶ(白坂亜紀氏)

当会のホームページをご活用下さい。

長井法人会では、皆様にご利用戴けるように、様々なコンテンツを貼り付けております。職場でお役に立つ情報が満載です！ 毎日とは言いませんが、せめて週に一度でも当会のホームページをご覧戴ければ幸甚に存じます。

●絵手紙ギャラリー

事務局長が時々書いております。毎月更新出来るよう頑張ります（^^）

●ケンタ君

法人会のキャラクターの「ケンタ君」。毎月いろんなケンタ君が登場します。

●インターネットセミナー

会員以外の方にも24時間いつでも無料で受講できます。孤独になりがちな社長さんにアドバイスも！ 経理・総務あらゆる分野のヒントが隠されています。

●法人会の概要

当会の概要を掲載しています。事業の内容や情報公開・社会貢献事業・青年部会・女性部会の活動も是非ご覧ください。

●仕訳塾

仕訳は経理の基本。シャッフル出題で何度でもチャレンジできます。すぐ採点が出ますので、間違いを確認でき、実力アップ間違いなし。

24時間いつでも無料で受講できます。

●高齢者雇用促進情報

70歳まで働ける企業を目指して、「高齢者雇用に関する助成金制度」「高齢者雇用の成功事例」等を掲載しています。

当年度の重点事業のひとつです。

●ご案内 セミナー講習会

各種セミナーを開催する時は、FAX・郵便でご案内していますが、HPに掲載することで、会員以外の方にもPRに努めています。どなたでも参加できるように講演会をご案内しています。

●新着情報

長井商工会議所のブログ「さみだれ」に、当会で予定の事業や実施した活動を写真付きで紹介しています。

●@読む新聞(毎週更新)

日本経済新聞から知っておきたい情報をコンパクトに纏めています。

●法人会情報(毎月更新)

毎月の注意すべき、事務・税務のチェックポイントを掲載しています。

●総務部の12ヶ月の仕事

総務としてやらなくてはならない仕事の解説と、関連する法定等業務を掲載しています。事前にチェックして慌てないようにしましょう。

●いちごプロジェクト

全法連の女性部会が15%節電の事業を展開しています。

●東日本大震災関連

復興特別税制をはじめ、人事労務関係、震災対応ハンドブックを掲載しています。

●e-Tax(国税庁)

国税電子申告・納税システム

●社会保険料算出ソフト(山形県版)

年齢・月額給与・年間賞与を入力するだけで、健康保険料、介護保険料、厚生年金保険料が一発で計算。労務管理にご活用下さい。



長井法人会ホームページアドレスは、
URL:<http://www.nagai-ho.jp> です。

写真で見る事業あれこれ



▼講師 高年齢障害者雇用
支援センター
佐藤泰博氏

▼特定社会保険労務士
小島信一氏



▲11/16 税を考える週間記念講演会
講師 銀座のママ 白坂亜紀氏



▲11/10 働き方を考えるセミナー
講師 山田 亮氏



◀6/19～11/2 20回シリーズ
初級簿記講習会 鈴木雄一郎氏
今回は昨年の15回から5回増やし
20回の開催。試験問題練習を2回
程実施出来ました。



◀12/2 白鷹支部金融セミナー
講師 山形銀行荒砥支店
支店長 駒込勉氏



▲1/21 租税教室
講師 長井税務署職員



◀10/24
明日から経理ができる、
経理入門セミナー
講師 林 忠史 氏

▶9/19
長井南北支部交流会
今年もマグロを食
べて楽しく税を学
びました。



▲1/22 新設法人説明会
講師 長井税務署職員



ウグイスが鳴くと春が来る

カレンダーが1枚めくられて2月になると、年末年始のころに比べ、太陽の光に力強さを感じるようになる。ロシア語では「光の春」というそうだ。ただし、春の気分は光だけ。寒さはもう少ししばらく続くことになる。

「春は名のみ風の寒さや…」で始まる『早春賦』（吉丸一昌作詞、中田章作曲）が発表されたのがちょうど100年前の大正2年。歌はこのあと、「谷のウグイスもスタンバイしていたけど、寒いし、時季的にもちよっと早いから鳴かないよ」というような意味の歌詞になる。

ウグイスの鳴き声といえば「ホーホケキヨ」が一般的だが、これは「さえずり」といって、オスだけが鳴き、自分の縄張りを示す。地鳴きは「チャッチャツ」と聞こえる。

春告鳥（はるつげどり）の別名があるウグイスだが、気象庁の生物の動向で季節の移り変わりを調べる「生物季節観測」の対象になっている。「ホーホケキヨ」と初めて聞いた日が「ウグイスの初鳴き日」。これから3月、4月と「初鳴き前線」は日本列島を北上していくので、鳴き声を聞いた方はもうしばらくお待ちを…。

地球は温暖化。きつと、100年前より現在のウグイスは少し楽になったに違いない。

【作者略歴】

藤木順平（ふじき・じゅんぺい）本名・藤田順一）フリーランスライター。1976年早大理工学部卒業。NHK『てんぐく笑芸場』の台本執筆勉強会に参加。日本テレビ『アメリカ横断・ウルトラクイズ』のクイズ作家として5年間番組に加わる。芝居・漫才の台本・コントなどを執筆するかわら、ことわざや笑いを通じての「人間探求」をテーマにした講演を行う。1993年から2007年まで㈱エフシー総合研究所に勤務、労働組合などの広報誌紙向けに雑学系の原稿執筆やパズル・クイズの作成を担当する。



法人会の経営者大型総合保障制度

**広げよう
企業保障の
大きな傘を**

法人会の
「経営者大型総合保障制度」は
昭和46年に発足し、
会員のみなさまと共に
歩んでまいりました。
これからも会員のみなさまを
お守りしてまいります。



山形営業支社 米沢営業所/
米沢市門東町2-6-17
TEL 0238-23-2244



山形支店/山形県山形市諏訪町1-1-1
(センチュリープレイス山形7F)
TEL 023-633-8282



**謹んで新年のお祝詞を
申し上げます**

おかげさまで、法人会がん保険制度は今年30周年を迎えます。
法人会の福利厚生制度の普及を通じ、
会員企業とそこご家族の皆様にご安心をお届けしてまいります。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



青いダック



まねきねこダック

アフラックは、「がん保険」も「医療保険」も
選ばれて契約件数NO.1
※平成23年度「インシュアランス生命保険統計号」より

■引受保険会社（お問い合わせ先）



〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
法人会フリーダイヤル ☎0120-876-505
受付時間/9:00~17:00(土日祝日除く)